

放送番組センターレポート

BROADCAST PROGRAMMING CENTER OF JAPAN Report

公益財団法人 放送番組センター

〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター
TEL.045-222-2881 FAX.045-641-2110 <https://www.bpcj.or.jp/>

■テレビとCMで見る

平成+令和1~2ヒストリー展

2月26日～4月11日、各放送局、制作会社、ACC、東京ニュース通信社などの協力を得て「テレビとCMで見る平成+令和1～2ヒストリー展」を開催した。この企画展は、2019年夏期に開催し、テレビ番組とCMで平成の30年を振り返った「平成ヒストリー展」に、令和2年分の内容を加えたものである。

テレビコーナーでは、前回同様各年の出来事を、話題になった番組を中心にパネルで紹介するとともに、『TVガイド』約230冊の表紙の展示と歴代編集長のコラムで時代を振り返った。



また、特別企画として「コロナ時代の番組制作」をテーマに、制作現場の苦勞・工夫・思いなど、地上波各局の様々なジャンルの番組プロデューサーや美術担当者の声を紹介した。新型コロナウイルス感染拡大は番組制作に大きな影響を及ぼした。そんな未曾有の事態が発生した困難な状況においても、逆境をチャンスに変え、創意工夫により新しい番組を生み出し続ける、現場の今の様子を伝える展示となった。



CMコーナーでは、ACC賞受賞作品から厳選したテレビCM103作品を上映。また、CM制作者による「令和の時代のCM」コラムでは、大人数での撮影から、完全リモートだからこそ作れる内容に急ぎょ転換し話題を呼んだCMの例などが紹介され、「令和は、今までの当たり前から解放され新しいチャレンジを始める、かつてないチャンスになる可能性がある」と述べられた。

新型コロナウイルス感染再拡大が懸念される中での開催であったが、前回に続いて訪れた来場者もあり「前回この企画展へ来場し、再度見てみたいと思っていたので、2年ぶりに楽しめた」等の好評を得た。また、「古い年代から新しい年代になるにつれ、知っている番組や曲の数が息子と逆転していくのが楽しかった」との声も寄せられ、世代を超えて楽しめる企画展となった。

■「2021春の人気番組展」

4月23日～6月13日、地上8局・BS8局の協力を得て、「春の人気番組展」を開催した。各局のブースでは、新情報番組や新ドラマを、ポスター・

デザイン画・セット模型等で紹介した。テレビ神奈川のブースに飾られた『関内デビル』出演者の等身大パネル等と、撮影を楽しむ姿が多く見られた。



■番組を視聴する会 「沖縄」特集

6月18日～7月4日、「沖縄を伝える・記録する・考える～いくさ世を越えて～」と題し、番組を視聴する会第13回を開催した。本土復帰50周年を来年に控えた沖縄をテーマに、画家、歌手、政治家、日系米兵など、様々な立場の人物の功績や足跡を通じ、戦争や平和、命について考える番組を取り上げた。上映番組は以下のとおり。『悲しいほど海は青く 沖縄戦最後の県知事 島田勲』（2003/ 沖縄テレビ）、『NNNドキュメント'10 いじていめんそーれ 故郷へ進軍した日系米兵』（2010/ 日本テレビ）、『草の根は叫び続ける 中村文子1フィートの反戦』（2003/ 琉球放送）、『日曜美術館 いくさ世の画譜 丸木位里・俊おきなわを描く』（1984/NHK）、『山原シャンソンわが命 石坂真砂・対馬丸を唄う』（1984/ 琉球放送）、『OTV報道スペシャル カメさんの背中』（2006/ 沖縄テレビ）

■理事会、評議員会を開催

【第1回理事会】

6月7日にオンライン形式で開催の第1回理事会で、令和5(2023)年度からを対象とする次期事業方針の検討の現状と進め方を了承したほか、令和2(2020)年度事業報告ならびに収支決算案、定時評議員会の議題案を承認した。また、令和3(2021)年7月からの次期2年間の放送番組収集諮問委員会委員10名と委員長、委員長代理をそれぞれ決定した。このほか、本年度保存対象番組の選定などを含む番組保存委員会報告を了承した。

【定時評議員会】

6月22日に書面形式で開催の定時評議員会で、理事の選任、ならびに令和2(2020)年度事業報告、収支決算案を承認した。

◆令和2(2020)年度事業報告の概要

中核となる番組の保存・公開業務の充実を図るとともに番組視聴システムの更新を完了させた。新型コロナウイルス

感染拡大を受け施設や催事に大きな影響を受けたが、大学等教育機関での番組活用で新たに在宅授業に対応するなど事業の着実な取り組みを継続した。財政においては、100億円の基本財産をもとに、運用利率2%台の維持を目標として、着実なリスク管理を行い、堅実な財政運営に努めた。

・番組の収集・保存・公開

年度内に収集・保存した番組数はテレビ1,017本、ラジオ219本で、公開した番組数はテレビ512本、ラジオ125本である。

・事業の全国展開

サテライト・ライブラリーは、新たに3施設を加え11施設で個別視聴を展開した。大学等教育機関での利活用は、「中学・高校」、「在宅授業」での試験運用を開始した。9校で延べ49本の番組が利用された。

■NHK・民放合同上映会 仙台開催

6月11～13日、仙台のNHK、

民放テレビ局と連携し、「宮城で考える東日本大震災10年 テレビのこれまでとこれから」をNHK 仙台放送局で開催し、各局が制作した東日本大震災関連のドキュメンタリー15本を上映した。12日にはさとう宗幸氏(歌手/司会者)を迎え、各局の報道担当者によるトークセッションを行った。

■教育機関での番組利活用

【桜美林大学】

2021年度春学期、芸術文化学群ビジュアルアーツ専修「メディア情報分析」(田淵俊彦講師)の授業で、『ノンフィクション劇場 忘れられた皇軍』(1963/日本テレビ)が利用された。

【椋山女学園大学】

2021年度前期、文化情報学部メディア情報学科「メディア情報分析」(太田智己講師)の授業で、『NHKスペシャル タイス夫妻の戦争 アメリカ兵捕虜家族の記録』(1991/NHK)が利用された。

■2021.3～2021.5の公開番組

【テレビ番組】

『大河ドラマ 八重の桜(1)』

2013.01.06 / NHK

『漂流少年 学校にいけない外国ルーツの子どもたち』

2019.03.29 / テレビ愛知

『生きさせて!～「新婚さんいらっしゃい!」ある夫婦の143日～』

2001.05.29 / 朝日放送テレビ

『シリーズ企画「手話が語る福祉」』

2018.04.06 ほか / 岡山放送

『二つの核のはざままで

～福島・浜通りに暮らす被爆者たち～』

2011.08.06 / 中国放送

【ラジオ番組】

『山下純一とアルミカンの

今夜もバリアフリー FUNK』

2020.05.25 / 大阪放送

『感染 -正義とは何か-』

2020.05.30 / 南海放送

など、テレビ120本、ラジオ49本。

新公開番組 PICK UP!

あなたの思い出 ジオラマにしませんか?

2019.01.05 / CBC テレビ

ディレクター：榊原佑記、羽根田梅子
演出・プロデューサー：尾田真一

今はなき失われた風景を、気鋭のジオラマ作家が蘇らせる。1作目は銀座の老舗キャバレー「白いばら」。創業は1931年、豪華な内装と200人を超えるホステスで賑わった伝説の店は、2018年、老朽化のため87年の歴史に幕を下ろした。閉店を知らず店を辞めたダンサーの女性は、「最後のステージで、皆と一緒に踊りたかった」と口にする。その願いを叶えるために、ドラマ『梅ちゃん先生』のオープニングも手掛けた山本高樹氏が、関係者に取材し店の外観と店内を忠実に再現、最終日の様子を蘇らせた。ジオラマの中に置いた360度カメラと連動したVRを着けると、まる

でジオラマ内のステージに立ったようなリアルな風景が広がる。写真や映像では叶わなかった夢だ。

2作目は、MCの山里亮太が芸人人生を歩む転機となった関西大学の寮を、「情景王」こと山田卓司氏が制作した。山里と同室だった元寮生の証言を元に、細部まで作り込まれた二段ベッドの部屋を再現。養成所の合格通知を受け取った日が蘇った。

精巧なジオラマは勿論、すべての手による制作風景や、当時を懐かしむ依頼者の表情も見どころだ。アナログなジオラマと最新のVRの組み合わせで、あたかもその場にいるかのようにジオラマ世界に入りこめるのも興味深い。ジオラマが引き金となり、次々と記憶が呼び戻されていく様子は、ジオラマが新しい形の「思い出との触れ方」であり、「記憶の奥にある扉の鍵」であることを実感させてくれる。

◆放送ライブラリー公開番組数

テレビ番組17,815本 / ラジオ番組4,766本 / テレビ・ラジオCM11,962本 / 劇場用ニュース映画2,683項目 (2021.6.30現在)